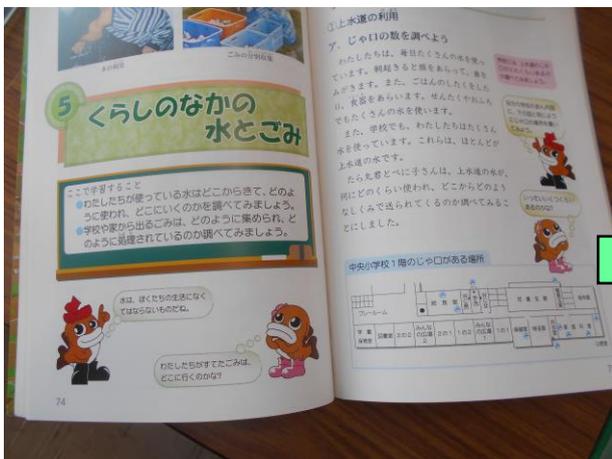


# デジタル副読本(4年生 社会科)



この10月より  
 岩内町の小学校2校では  
 小学4年生の社会科の学習で  
 これまでの紙で作られた副読本から  
 タブレットを活用したデジタル副読本を  
 使用することになりました。  
 小学校3・4年生の社会科では  
 自分たちの住む市町村について学習します。  
 デジタル化することで更新される町の情報を  
 そのつど、アップデートすることができます。



これまで教科書があった位置に  
 タブレットPCが置かれました。

**(2) アイヌの文化を守る取り組み**

①アイヌの人々の存在

現在もアイヌの人の多くは北海道各地でくらしています。東茅渚や大滝など、北海道以外の場所でもくらしている人もたくさんいます。そして、日本の住む多くの人々と同じくくらしています。

アイヌの人々の文化を伝える博物館が北海道各地にあります。岩内町の羅士館にもアイヌの人々のくらしがわかるものや写真が保管されています。

アイヌの文化を伝える博物館

アイヌの文化を伝える博物館が北海道各地にあります。岩内町の羅士館にもアイヌの人々のくらしがわかるものや写真が保管されています。

デジタル副読本の中にもこれまで同様、たら丸、ペに子が登場。

たら丸とペに子は、アイヌの文化や歴史を学ぶのに役立つキャラクターです。デジタル副読本では、最新の情報を提供しています。

アイヌの文化を伝える博物館

アイヌの文化を伝える博物館が北海道各地にあります。岩内町の羅士館にもアイヌの人々のくらしがわかるものや写真が保管されています。



文章を音読する子が手にするのでも  
 本からタブレットPCへ



じっくり見たい資料は  
 自由に拡大することができます。